

Q7：ボランティアを活用するときには、どんなところに相談すればよいのでしょうか。

A：生涯学習への理解が深まるにつれ、各学校においても、学社連携融合や地域教育資源の教材化、地域人材の活用に積極的に取り組まれる機会が増えてきました。特に、地域人材（ボランティア）に関しては、学習成果の活用の推進に伴い、学校側からの依頼にとどまらず、ボランティアからの学校への積極的な働きかけという融合的なケースも増えてきている傾向にあります。

しかし、「ボランティア」という概念に対する共通理解がまだ不十分であったり、実践の段階では、地域や学校・児童生徒の実態、ボランティアの位置付け等がまちまちであるがゆえに、様々な戸惑いや問題点が出てきているのが現状です。

このような場合、学校としてどう対処すべきか教職員間で話し合い、共通理解をすることが大切です。さらに、実践的な問題に対処すべき方法として、社会教育へのアプローチをしてほしいと思います。具体的には、次のような方法手段があると考えられます。

#### 1 まず、最寄りの公民館へ

地域社会の生涯学習・社会教育の拠点的な役割を担っている公民館には、身近な情報や地域社会のネットワークがあります。また、近年の傾向として、学習機会の提供ばかりでなく、学習成果を発揮する場の提供に力を入れている公民館も増えてきており、学社融合的な取組を実現できる可能性を秘めています。

#### 2 生涯学習課・社会教育課、スポーツ担当課へ

ボランティア保険や町の人材リスト整備等、学社連携・融合関係事業の事務局的な役割を担っているのは、生涯学習課・社会教育課が多いようです。身分保障や謝金等、具体的な懸案事項に関する相談は、生涯学習課・社会教育課にするとよいでしょう。また、最近普及がめざましいニュースポーツ等に関する情報は、スポーツ担当課（係）に相談するとよいでしょう。芳賀管内では、これらは公民館と同じ組織内または同一施設内にある市町が多いです。

#### 3 芳賀教育事務所ふれあい学習課へ

芳賀教育事務所ふれあい学習課では、家庭教育デリバリー講座をはじめ、生涯学習・社会教育の推進に協力しています。どのようなことでもお気軽に御相談ください。また、今年度から「栃木県生涯学習ボランティアセンター」と連携した「芳賀教育事務所生涯学習ボランティアセンター」を立ち上げました。情報提供や講師紹介等の際、ぜひ御利用ください。

#### 4 その他の青少年教育施設・図書館、社会福祉協議会等へ

それぞれに独自にボランティアを養成したり、バンク等を作成していますので、相談するとよいでしょう。

#### < 参考資料 >

「学校におけるボランティア等活用実践研究実施報告書」栃木県教育委員会事務局義務教育課 平成14年3月